

Question.

アライナー型矯正装置とはどのようなものですか？

質問者

(東京都 T.O.さん 82回)

Answer.

矯正治療装置がステータスシンボルの一種と受け止められる国がある一方、本邦ではなるべく目立ちにくい装置を好む傾向があります。そのため、白色や透明性が高い審美ブラケットの使用や、舌側矯正治療の需要が高まっており、さらに近年では、より審美性が高い装置として可撤式装置であるアライナー型矯正装置が注目されています。

アライナー型矯正装置は口腔模型もしくはそのデジタルデータから歯の移動をシミュレーションして作製したマウスピースであり、歯を徐々に移動させる度に新しいマウスピースを継続的に使用し続けることで、適正な歯列を獲得する施術です。つまり、初診時と治療のゴールまでを細かく多くの段階に分け、それぞれの段階ごとに次々と新しいマウスピースを入れ替える処方です。また、一時的に装置を外すことで食事やその後の口腔内清掃が容易となることや、金属アレルギーの患者においても適用対象となることなどから比較的 안전한装置であると考えられています。さらに、本装置の作製には技工操作に多くの時間が費やされるもののチェアタイムが比較的短いことから、これらの利点を強調した広告が国内外の複数メーカーから提供されています。

しかし、ここで注意が必要となるのは、国内で作製されたアライナー型矯正装置は、通常の技工物として取り扱われるのに対して、海外製の装置は、歯科技工士法上の矯正装置にも、薬事法上の医療機器にも該当しないことです。したがって、診療にあたっては、歯科医師が患者への十分な情報提供を行ったうえで患者の理解と同意を得ることを順守するとともに、歯科医師の全面的な責任の下で使用する必要があります。もちろん、国内で作製されたアライナー型矯正装置であっても、歯科医師の指示書により作製される（歯科技工士法第4章第18条）ことから、主治医はその設計を含め、治療計画、治療結果に全責任を負う必要がある¹⁾とされています。

また、歯の移動には同等の反作用が維持歯へ伝わるために固定源の確保が重要となることや、歯冠の位置だけでなく頭蓋顎顔面における歯列の位置、歯

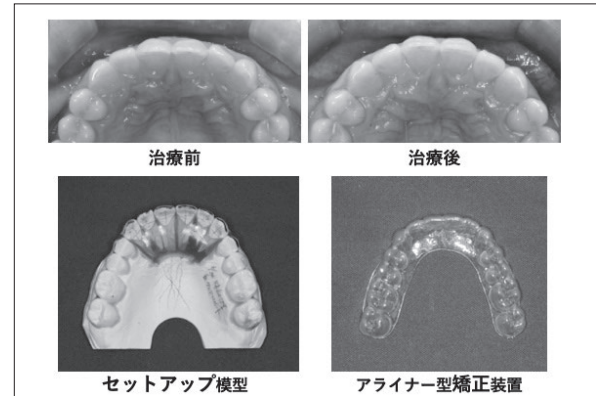


図 アライナー型矯正装置による診療例

根や歯周組織の状態、および、咀嚼機能など咬合に関する様々な要因についても検討することが必須です。さらに、過度な矯正力による疼痛や歯髄壊死を防ぐための慎重な対応が必要となります。

そこで、アライナー型矯正装置を使用する場合には、歯の移動の力系やメカニクスを十分に考慮した正確な診断のもとに綿密な治療計画を立て、特に動的治療中は細心の注意をもって経過観察を実施することが必要です。加えて、新しい装置へ変更した場合は、それまでの装置は口腔内から取り除かれるため、使用している装置の力系が十分に発揮されたことを確認して、次の段階に進むことが重要です。また、患者の協力が不十分なために動的治療中に後戻りが生じた場合は、数段階も前の状態に戻る可能性があることから、本装置を選択する場合には事前に患者へ十分な情報提供が必要です。

参考文献

- 1) 公益社団法人日本矯正歯科学会：アライナー型矯正装置による治療指針，日本矯正歯科学会，2017。

質問の回答者



うづか さとし
宇塚 聡

附属病院 矯正歯科